

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 7名回答、回答率100%
保護者様： 23名回答、回答率 92%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・法令上の人員基準は満たしているものの、当日の利用状況、送迎などで職員が少ないと感じるときがある。安全管理の点から職員配置を検討し死角を作らないよう教室内も工夫している。
- ・発達支援室は十分な広さがあり、机の配置を工夫して課題や学習にも集中して取り組めるようにしている。

○業務改善

- ・教室の支援対応にあたる時間が多くなっているため、各職員の業務分担を適切に行い、一人一人の業務負担を減らせるようにする。

○適切な支援の提供

- ・ミーティング等で職員同士の意見交換、支援の振り返りなどがしっかりとできている。また、その日にあったことを共有・相談できる場を設けている。

○関係機関や保護者との連携

- ・保護者様を通して、学校での様子、行事等の情報共有を行っている。主に送迎や面談時に行い、密に連携を取れている。

○保護者への説明責任等

- ・毎月のニュースレターで前月の活動報告と次月の活動予定、連絡事項などをお知らせしている。
- ・2月に療育参観・保護者会を実施。

○非常時等の対応

- ・月一回、避難手順・避難経路等を確認する避難訓練を行っている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・多くの保護者様から部屋がいくつもあり、必要なスペースは確保されているとの評価をいただいた。
- ・棚や机、ホワイトボードなどに名前・番号が書いてあり、視覚的分かりやすく工夫されていると意見をいただいた。

○適切な支援の提供

- ・支援計画作成について面談の時に子どもの様子、状況を一緒に話せて共通理解できていると感じるとの意見をいただいた。
- ・「毎月プログラムがあり、色々工夫されていると思います」との意見をいただいた。

○保護者への説明等

- ・意思疎通情報共有などすごく配慮していただいているとの意見いただいた。
- ・送迎がなくなってから先生方と話す機会が面談以外なくなったとのご意見をいただいた。

○非常時等の対応

- ・非常時等の対応については、9割の方から様々な非常時に対する対応を集団療育を通して実施されているという評価をいただいた。

○満足度

- ・「笑顔も多く楽しみにしているように感じます。「スタッフの方たちが優しく対応してくださり、家ではできない活動をいろいろさせていただき子ども保護者も感謝しています。「卒業後もスマートキッズに関わる機会がほしいです。」との意見をいただいた。多くの方から通所を楽しみにしている・満足しているとの評価をいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・定期的にブログ作成や家庭連携等を通して、保護者様への情報発信、情報共有を行う。
- ・保護者会開催のスケジュールを立て、実施に向けた行動に移す。
- ・面談やニュースレター、保護者会等を通して、新しい利用者負担額や緊急時対応マニュアル等について周知する。
- ・2か月に1回は職員研修を実施し、職員の資質向上を図る。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・長期休暇や特別開室には、課外活動を行い、地域交流を行うことができた。
- ・児童と協力をしながら教室の清掃や環境整備を行い、支援に適切な環境を保てた。
- ・保護者様との交流、療育参観など企画・運営する必要がある。
- ・今後も定期的に研修を行い、品質向上を図る。
- ・ブログを毎月更新し、教室で行っていることを定期的に紹介していく。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・ミーティングにて、職員同士が互いの意見を尊重しながら、一人一人の生徒の特性や支援方法を話し合うことでよりよい支援、安全で安心した居場所作りを意識した教室運営を行うことができている。
- ・支援の様子や生徒の状況について、送迎時の引き継ぎや面談等を通して、保護者様と共有し、共通理解を図ることができている。

○改善点

- ・保護者会や療育参観の開催。
- ・緊急時のマニュアル等の周知・説明。
- ・職員研修の定期的な実施。
- ・統一した支援を提供する為に、学校や関係機関と面談等を通して連携。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・周辺地域や関係機関との関わりを増やしていく。
- ・保護者会の実施、保護者様同士の交流の場を提供する。
- ・災害時の対応に関して保護者様への周知を図る。

○1年間で取り組む具体策

- ・長期休みを通して、周辺地域や関係機関との関わりを増やす為にイベント等に参加をする。
- ・1年に1回以上の療育参観や保護者会の実施等、保護者間の交流の場を設ける。
- ・災害時のマニュアル等を保護者様に配布し、周知する。
- ・家族支援のようなサービスを通して、家庭でのお困り事や今後の課題について話し合う機会を作る。